

創部初 “夏大ベスト8” 白河旭大健闘！

7月10日から『第101回全国高等学校野球選権福島大会』が行われました。

☆7月11日 1回戦 白河旭8－1須賀川桐陽

初戦は同地区同士の戦いとなった。二回表に今大会初となる4番小島聖也のホームランで1点を先制。その後、9回の表、菊地海斗が大会2号目のホームランを打ち放ち、旭打線を見せつけ無事初戦を突破した。

☆7月15日 二回戦 白河旭6－5磐城

二回戦は、“夏の磐城”と言われるほど夏に強い磐城高校。

3回の表、1番相山琉磨が右中間二塁打を放ち、3番舟木悠悟の2打点センターオーバーのヒットで一挙3点を先制した。9回の裏、厳しい場面があるもののしっかり守り抜いた。

☆7月21日 三回戦 白河旭8－1南会津

鈴木優斗が先発となり、許したヒットは3本と絶好調なピッチングを見せた。

7回87球を投げ切り7回コールドで勝利投手となった。

☆7月23日 4回戦 白河旭7－6相馬

4回戦は、去年1回戦でも戦った相馬高校。“負けられない意地”が強く感じられた試合となった。1回の裏、相手の2～5番の連打で2点を先制された。その後も6回終了まで6－4で負けていたが7回の表、舟木の逆転タイムリーヒットが試合を決め見事勝利した。

☆7月25日 準々決勝戦 白河旭5－6東日本昌平

準々決勝は、第一シードの昌平高校。3回に先制点をとられのものの6回の表に一挙4点を入れ逆転した。白河旭が1点をリードのまま迎えた8回裏、1点を返され同点の延長となった。そして10回裏、サヨナラとなる1点を入れられ5－6で敗退した。

目標のベスト4入りは叶わなかったが、スタンドからの全校応援もあり、グラウンドを沸かせた試合になった。

